

田中まどかの市議会通信 vol.29

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）2023. 7. 15 発行



4月23日投開票の日高市議会議員選挙において、1位当選することができました。みなさまの負託にこたえられるよう、今期も精一杯がんばります。「あなたの悩みがまちの課題です。」どうぞお気軽にご意見ご相談をお寄せください。

6月議会の「報告

マイナンバーカード関連の 条例改正に反対

マイナンバーカードの電子証明機能をスマホに搭載すれば、スマホで各種証明書をコンビニのマルチコピー機から取ることができるようになります。それに関連して、日高市印鑑条例の改正が必要になりました。反対理由は3つ。

- ①費用対効果が低い。
令和4年度の印鑑登録証明書の交付数は14,654枚。そのうちコンビニ交付は1,602枚。（コンビニ利用率は約11%）1枚当たりの発行費用は1,900円。これは令和2年度の1,500円よりも上昇しています。
- ②利便性と公平性に欠ける。
対応機種は当面アンドロイドのみで、スマホ利用者全体の約50%、若年層の約70%が使用する 아이폰の対応時期は未定で、当初からこのサービスの恩恵に預かる人は少ないのです。
- ③安全性に問題あり。
全国で続出している誤交付などのトラブルの原因は、カードの普及を急ぎ過ぎた政府の失策にあります。スマホでの利用は、より慎重になるべきです。
この制度の先にあるマイナンバーカードと保険証・運転免許証との一体化やスマホへの搭載は、多くの国民に不便・不安を強いるものであり、税金の使い過ぎが目立ちます。国は、一度立ち止まって制度じたいを見直すべきです。

復興税がいつのまにか 森林環境税に？ 市民への周知を！

東日本大震災からの復興と各自治体の防災事業の財源確保のため、平成26年度から個人住民税の均等割に千円が上乗せされています（市、県で500円ずつ）。

この「復興税」は令和5年度で終了し、令和6年度からは「森林環境税」として千円を納めることになりました。

同じ千円でも、復興税は地方税で自治体で使えましたが、森林環境税は国税で、いったん国に入ってから、「森林環境税」として各自自治体に配分されます。

この税の「付け替え」で、試算では、日高市の住民税は約1,400万円の減収、森林環境税は約1,000万円の増収になり、その差約400万円の減収となります。

税の目的も課税主体も違う、納税者を欺くような税の取り方と減収を理由に反対も考えましたが、森林の保全は待たないです。特定財源の確保は必要なので、納税者への周知方法（納税通知のお知らせを同封など）を確認して賛成しました。

国は今後、人口なども加味する森林環境税と税の配分方法を見直し、より森林面積の広い自治体へ増額すべきです。



民主的と言えますか？日高市議会

— 人事 —

左の表を見れば、当選順位や期数に関係なく、保守系及び保守系と組んでいる議員、男性議員の優位が明らかです。人事が密室で決まるのは「伝統」としても、議員になって16日目の委員会未経験の方が副委員長に就くなど、妥当な人事といえるでしょうか。

— 傍聴者軽視 —

議会に関心を持って足を運んでくださる傍聴者に「うるせえ」などと言ったり、傍聴者が入室しないうちに会議を始めるのはやめていただきたい。

— 謎ルール —

例えば、「質疑・質問は市職員と十分に調整のうえ行うこと」、「反対討論と賛成討論が揃わないと議会だよりに掲載しない」、「議員控室に市民は入れない」など、目的や理由のわからない『謎ルール』が多く、これらは二元代表制の意義を低下させ、議員の発言権や市民の知る権利を侵害しています。

当選順位	議員名	期数	党派	役職	一部事務組合議会議員
1	田中まどか	5	無所属		
2	加藤将伍	1	無所属	総務福祉常任副委員長	—
3	松尾万葉香	2	無所属	総務福祉常任委員長	入間西部衛生
4	鈴木健夫	4	公明党	議長	入間西部衛生
5	三木伸也	2	公明党	議会だより編集委員長	広域飯能斎場
6	金子 博	2	無所属	文教経済常任委員長	埼玉西部消防
7	大澤博行	5	無所属		入間西部衛生
8	和田貴弘	2	無所属	副議長	埼玉西部消防
9	佐藤 真	3	日本共産党		広域飯能斎場
10	横尾貴文	1	無所属	議会だより編集副委員長	—
11	山田一繁	5	無所属	議会運営副委員長	入間西部衛生
12	成田奈緒子	1	市民ネット		—
13	加藤大輔	2	無所属	議会運営委員長	入間西部衛生
14	近藤沙織	1	立憲民主党		—
15	新井均	1	無所属	文教経済常任副委員長	—
16	森崎成喜	6	無所属	監査委員	入間西部衛生

※ 日高市議会では、初当選後2年間は一部事務組合議会議員になれません

6月議会 田中まどかの一般質問

市の施策の方針や状況などについて説明を求めたり、議員から市への提案を行うことを一般質問といいます。日高市議会では、質問・答弁合わせて一人60分の持ち時間があります。私はこれまで、定例会での一般質問を欠かさず行ってきました。



「ごみ出すべし、ごみ出すべし」

・高齢者の「ごみ出し支援」
・自治会非加入世帯の「ごみ戸別収集の可能性」

廃棄物処理法では、ごみの収集、運搬、処理は市町村の責務です。しかしごみ集積所の設置と管理の多くは行政区（自治会）なので、自治会非加入世帯の集積所の使用や管理料に関するトラブルが起きがちです。市には過去3年間に11件の相談があり、環境課がアドバイスをするなど対応したそうです。日高市の自治会加入率は77%と高いですが、今後高齢を理由にやむを得ず自治会を抜ける方も増え、身体的にもごみ出しが困難になる方が増えることが予想されます。

高齢者の「ごみ出し支援」は「地域おたすけ隊」やNPOが行っていますが、全国の先進自治体や近隣市を参考に、市としての支援制度をつくることを考えているかについては、「集積所が遠く、ごみ捨てに自動車を使わざるを得ない農村集落地域もあり、ごみ出し支援が高齢化・核家族化社会の課題であると認識している。今後効果的な支援策について研究していく。」、高齢化のみならず、自治会非加入世帯の問題も解決できる戸別収集については、「収集運搬費が現在の2〜5倍（2〜5億円）かかるため、市としては

集積所（ステーション方式）を維持したい。」との答弁でした。財政的に難しいのはわかりませんが、生活すれば必ず出るごみの収集は、衛生、福祉、地域コミュニティなど多岐にわたる重要課題です。関係部署と連携し、知恵を出し合って早めの対策を考えるべきです。

教員不足の現状と児童生徒への影響

全国的に問題になっている教員不足。日高市でも深刻です。現在11校中5校で教員不足が生じ、うち、教員定数を満たしていない学校が2、加配教員数を充たしていない学校が4、計6名の不足です。すでに業務遂行に影響が出ており、学習など生徒への直接的な影響、学校全体の教育水準の低下、不足教員分を負担する教員の健康への影響が懸念されます。

要因は、教職員の休暇・休業制度が充実したこと（現在19名が産前産後休暇または育児休業を取得中。これは教員定数212名の8.9%）、特別支援学級の増加（今年度31学級）、団塊の世代の教員の斉退職、臨時的任用教員の登録者数の激減、教員志望者の減少があげられます。

教員確保のために、教育委員会の担当者が週に何度も県の教育事務所に向いて臨時的任用教員のリストを確認したり、近隣市町や都内の教育委員会



学校給食の無償化は子どもの権利保障

全国で給食の無償化が加速しています。コロナ対策や物価高騰対策に使える国の臨時交付金を利用して自治体も含め、令和4年度には約28%の自治体が無償化しています。埼玉県内では滑川町、横瀬町、小鹿野町、皆野町、美里町、神川町、東秩父村が移住定住対策として無償化していましたが、今年度は戸田市や行田市など都市部でも一部無償化が始まり、隣の坂戸市は完全無償化に踏み切りました。交付金が切れる来年度以降も市独自で継続する意向です。

本来は、国が質を担保しつつ、全国一律に実施すべきです。しかし自治体間の格差が出てしまっている現状を放置していいのでしょうか。

日高市が学校給食を無償化するには、食材費にかかる自主財源約2億円が必要で、継続的な自主財源が作れない限り無償化はできないとのことでした。しかし、子どもたちは学習指導要領に基づいて学校生活を送っています。言い方を変えれば学校に拘束されているわけですが、昼食を提供するのは当然であり、子どもの育つ権利、学ぶ権利の保障であると思います。

性的グルーミングについて啓発を

グルーミングは、動物の「毛づくろい」から派生して、わいせつ目的で子どもを手なずける行為です。子どもの無知や羞恥心、罪悪感を利用します。先の国会で成立した改正刑法にもグルーミング罪が新設されました。手口としては、①公園などで馴染になる②教員や保育士などが信頼関係を利用して③SNSで親しくなり、面会や写真を要求するオンライングルーミングなどがあります。

本日の親切と下心ある接近の区別はおとなで容易にはつきません。グルーミングによる性被害を受けた子どもは、「何が起きているのか理解できなかつた」「いつの間にかそうになっていた」と振り返ります。また、被害者は、ジャーニーズの件でもわかるように女児だけではありません。



子どもたち、家庭、そして被害に気づいてあげられる一方、加害者になる可能性もある教員や保育士への周知を要望し、市は「危険性や被害から身を守る方法など、より具体的な周知・注意喚起に努める。」と回答しました。

〈性被害の相談窓口〉
性犯罪被害相談電話全国共通「#8103」
埼玉県の相談電話「アイリスホットライン」
0120-31-8341
日高市教育委員会 042-989-2111
日高市子育て応援課

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2
ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/> TEL 090-9003-7344
フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>
メールアドレス：madoromi29@hanno.jp
お気軽にご連絡、ご意見、ご相談ください。

